



『子どもが子どもを成長させる』

副校長 武藤 浩之

1学期の最終月に入りました。新年度が始まり、早いもので三か月が経過したことになります。いよいよ学期末。生活と学習のまとめをしっかりと！と思っています。

ところで、聖母小だよりの先月号。巻頭言の結びは『しばらくの間、継続的に準備を要するよう大きな行事はありません。だからこそ十分に力を蓄えなくてはなりません』という内容でした。それに応えるかのように子どもたちは、更なる成長に向けて、あるいは飛躍に向けて、少しずつながら、確かな歩みを続けています。

大きな行事はないと言いつつ、先月においても、報告したいこと、報告すべきことがありました。以下に二つ取り上げます。

6月14日の午前。本園さくら組の園児たちが小学校に来て授業を受けました。毎年、この時期に行なわれている『年長組の体験入学』です。教科は国語と算数。サポート役は1年生。小学校内では一番下の学年ですが、年長児にとっては頼りになる存在。互いの関わりの中で、よきお兄さん、お姉さんぶりを見せてくれました。



年長組体験入学(国語)



部活動体験(剣道)

6月15日の午後。“幼小”の翌日には“小中”の行事がありました。『聖母中の体験』です。対象は6年生。本校独自の“総合学習”として、カリキュラムに組み込んでいます。まずは授業見学から始まり、次の全体会は中学校生活全般についてのガイダンス。6年生が最も楽しみにしていたのは、何と言っても部活動体験です。事前に希望したそれぞれの部で、久しぶりに再会した先輩たちの手ほどきを受けました。午後の限られた時間ですが、中学校生活を文字通り“総合的”に学ぶ行事になっています。

幼小と小中の行事。こうした連携を図れるのは、総合学院ならではのことで、その目的は何かと問われれば、教育的意図かつ効果があるからです。ただし、教員主体ではありません。子どもたち同士で教え、教えられる。小学生はお兄さん、お姉さんとして、中学生は先輩として自らも学ぶ。言わば、子どもが子どもを成長させる。それがこの連携の意図であり、効果でもあります。

土曜参観を終えて

- ◇6月17日は土曜参観でした。例年と異なり、今回は「講演会」「授業参観」という順でした。
- ◇講演会の講師は、いちかわクリニックの市川陽子先生(本園を卒園)でした。当時のお話から、幼小時の子育て、そして幼小時の教育がいかに大切か、改めて感じました。
- ◇本校の特色の一つは「専科制」です。参観はその専科の授業が中心でした。子どもたちの様々な姿をご覧いただけたことでしょう。

ようこそ先輩～創立記念日朝会～

- ◇まさに、テレビ番組のタイトル通りでした。今朝、行なわれた「創立記念日朝会」です。先輩として招いたのは、今春、聖母高を卒業したばかりの大学1年生。聖母小 第63回生の大槻夕真さんです。
- ◇この朝会で、これだけ年齢の近い先輩を招くのは、おそらく初めてのことで、『私の現在、過去、未来』をテーマとした話に、後輩たる小学生たちは熱心に耳を傾けていました。
- ◇大槻さんは、学業と日本舞踊を両立させてきました。既に名取も得ています。朝会の最後には、見事な舞いのプレゼントがありました。

スクールバス 職員の交替

- ◇スクールバスの佐藤忠夫さん(大森～野田コース担当)が、6月15日をもちまして退職されました。およそ二ヵ月間、お世話になりました。
- ◇後任は、佐久間光美さんです。

夏休み中の「プール使用」

- ◇今年度から夏休み中の「プール使用」を再開します。
- 《期間》7月24(月)～7月28日(金)
- 《時間帯》10:00～11:30
- 《対象》本校の児童(1年～6年)
- ◇その他の連絡事項につきましては、後日、体育科からお知らせを出します。

ご協力ありがとうございました

- ◇6月3日(土)に、今年度1回目の資源回収とベルマーク作業を行ないました。
- ・資源……………9,210円
- ・ベルマーク……20617.8点
- ◇ご協力に感謝しております。次回もよろ

個人面談(確認)

- 1年～5年
- 7月5日(水)と6日(木)
- 13:00～16:30
- 各教室
- 下校SB 13:25
- *今年度も個人面談のみです。
- *学級の様子につきましては、2学期はじめの保護者会(9月2日)で取り上げます。

～ 学院祭までの予定(確認)～

- 「学院祭」が少しずつ近づいて参りました。当日までの予定は次の通りです。ご協力のほど、よろしくお願いします。
- 『協力費』納入期間
- 7月 5日(水)～7月7日(金)⇒事務ポストへ
- 『協力品』の受付期間
- 8月25日(金)～9月2日(土)
- 手芸品…1品以上
- 何でも…1品以上
- 子ども…2品以上
- ⇒担任へ(提出用紙貼付)
- 『その他の『協力品』』
- 古本 食品
- 制服リサイクル
- 手芸、工作用材料
- ⇒担任へ(提出用紙貼付)

